

介護職の医療的行為 浣腸

介護職の医療的行為－浣腸

問題 1 誤りはどれ？

- ①浣腸は，下痢が続き，内服薬でも反応便が出ない場合に用いられる治療方法である。
- ②便秘の際は，腸内に便がたまり，腹部を触ると膨満があることが多い。
- ③浣腸では，液体や薬液などを直腸内に注入して，便を軟らかく滑らかにして腸の蠕動運動を起こし，排便を促す。
- ④介護職が実施できる浣腸の量に指定はない。

問題 1 解答

誤っているのは①、④

①浣腸は、便秘が続き、内服薬でも反応便がない場合に用いられる治療方法である。

④介護職が実施できる浣腸には指定がある。
挿入部（ノズル）の長さが6cm以下、
グリセリン濃度50%以下、容量40g以下。

介護職の医療的行為－浣腸

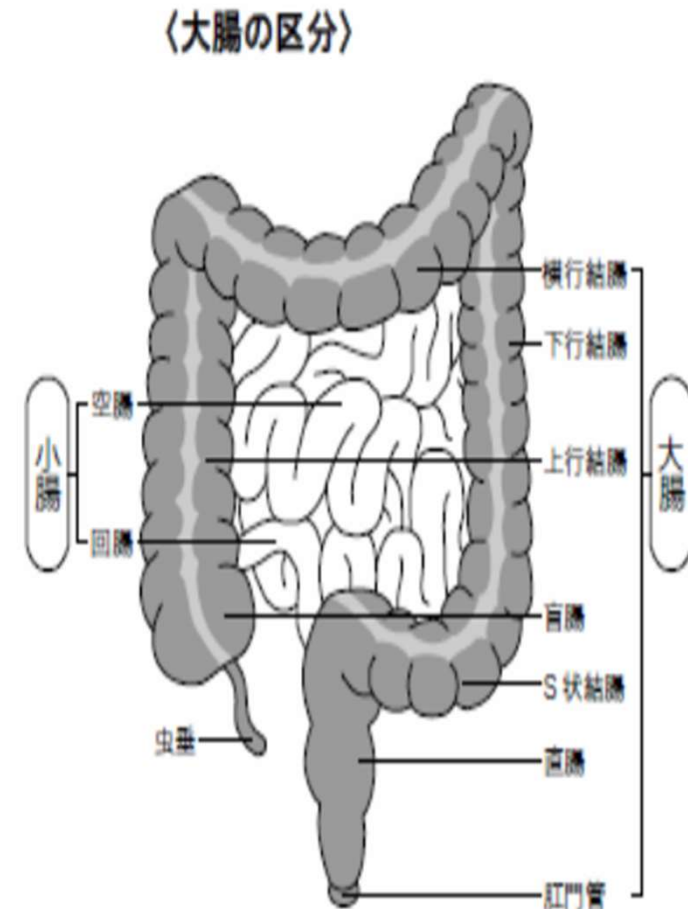
問題 2 誤りはどれ？

- ①グリセリン浣腸は，人肌程度に温めて使用する。
- ②ベッドで浣腸をする場合は，右側臥位をとる。
- ③カテーテル挿入時は，口呼吸にすると肛門周囲の筋肉が緩み，挿入しやすくなる。
- ④排便後は，排泄物を観察する。

問題2 解答

誤っているのは②

②ベッドで浣腸をする場合は
左側臥位をとる。左側臥位
の場合、便のたまりやすい
S状結腸が下になるために
浣腸液が浸透しやすく、効
果が出やすいためである。



介護職の医療的行為－浣腸

問題3 誤りはどれ？

- ①浣腸液を温めすぎると、腸粘膜が熱傷を起こすので注意する。
- ②浣腸液が冷たすぎると、体温低下などが生じる可能性があるので注意する。
- ③カテーテル挿入時には、ゼリーやオリーブオイルなどの潤滑油を付けて、腸粘膜を傷つけないようにゆっくり慎重に挿入する。
- ④ノズル5cmの浣腸器で、濃度50%のグリセリン液30グラムを浣腸した。

問題3 解答

すべて正しい

日本では、高齢者に対しての浣腸や摘便は禁止されていないが、アメリカでは禁止されている。高齢者の腸粘膜はかなり弱いいため、浣腸や摘便など腸粘膜に刺激を与える処置は避けた方がよいというのが理由である。そう考えると、やみくもに浣腸や摘便をするのではなく、自然に排便できるような生活環境を整えることを第一に介護することが重要である。筆者の経験では、十分な水分摂取や適度な運動などにより、便秘はかなり緩和される。また、内服薬の調整をすることで便秘を解消することも可能である。できる限り医療処置をせず、健康を守ることを目指したい。

介護職の医療行為－浣腸

問題4 誤りはどれ？

- ①運動不足、筋力低下は便秘の原因にはならない。
- ②便秘の予防として、毎朝決まった時間に便座に座ることが重要である。
- ③腹部マッサージは便秘の改善につながる。
- ④摘便は介護職員に許可されている行為だが、肛門の周囲をマッサージすることでも固い便が柔らかくなって自然排便が可能になることもある。

問題4 解答

誤っているのは①、④

- ①便秘の原因は、水分不足、食物繊維不足、運動不足、筋力低下などが考えられる。適切な運動、筋力強化は腸の働きを促し便秘の改善に効果がある。
- ④摘便は腸壁を傷付けやすいこともあり、介護職には許可されていない。効果的なマッサージを取り入れてみよう。

介護職の医療的ケア-浣腸

問題5 事例問題

3日間排便のない利用者がある。

主治医の指示で、滴下型の便秘薬を内服したが、今後、できる限り薬を使わないで、便秘にならないようにするためにどんな介護の工夫が考えられるか？

問題 5 解答

- 毎日の水分量を確認して、**体重1kgあたり30mL以上の水分**を飲めるように工夫して勧める。
- 食物繊維を食べることが便秘には効果があるので、**葉野菜、きのこ、海藻**を食べやすいように工夫することが重要である。どうしても食べられない方の場合には、市販の粉になっているファイバー（繊維）をお茶の中に混ぜたりして、食物繊維を増やすこともできる。

- 毎日、**適度な運動**をすることで、胃腸の動きがよくなり、排便が誘発される。散歩なども効果的である。
- 腹部を強めに**マッサージ**することも大腸の動きが活発化するので効果的である。
- 毎朝**決まった時間に便座に座る**行為も自然排便を促すのに効果があると言われている

【参考文献】

- 1) 岩下馨歌里：研修用DVD安心安全ケア教育 下巻，2012.
- 2) 介護人財育成ぶらすVol. 5， No. 7（特別編集号），2008.

教材作成

有限会社ファイブアローズ

取締役 岩下由加里

※本教材は「介護研修115の問題用紙」（日総研出版）の教材を大幅に加筆修正したものである。

お疲れさまでした。